

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第91号 R5. 4. 14

「未来を拓く教育」をめざして

令和8年4月の東・西地区の義務教育学校開校に向け、令和5年度は「校名・校章・校歌の策定」「とよの未来科の導入」「保幼小中一貫カリキュラムによる授業研究」など今まで準備してきたことを一つずつ形に仕上げていきます。昨年4月に開校した「東能勢小中学校」では、中期学部の5～6年で教科担任制を導入し、9年間をつなぐ学びを検証していきます。西地区では、吉川中学校の改修工事に伴う引っ越しの準備が始まります。

このような状況の中、コロナ禍を乗り越え、「豊能町保幼小中一貫教育グランドデザイン」に基づき、地域・保護者・教職員・行政みんなで責任を持って一貫性・継続性・発展性を大切に「未来を拓く教育」をめざしてまいります。（「令和5年度豊能町教育基本指針」より抜粋）

ご入学、おめでとうございます。

令和5年度 小・中学校の入学人数

小学校 76名	中学校 104名
合計 180名	

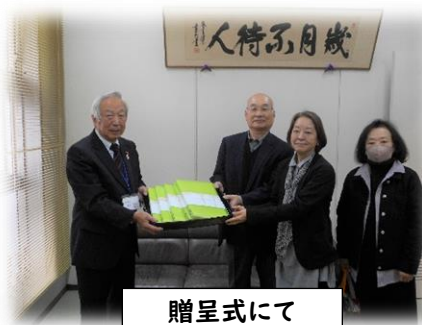
※令和4年度の入学人数は、小学校78名、中学校85名、合計163名でした。



東能勢小学校 入学式の様子

クリアファイル贈呈式 -「虹の会」様より-

今年度小学校に入学する児童76名に、「虹の会」様より「クリアファイル」をいただきました。毎年贈りものをいただいております。今年で14回目となります。いただきましたクリアファイルは、キャリア・パスポートとしてこれから、9年間使用することとなります。学校を通じて子どもたちに配付し、授業で活用していきます。ありがとうございました。



贈呈式にて

とよの未来科 はじまります！

～ふるさと♡とよの⑱～



本紙でも「～ふるさと♡とよの～」と題しシリーズでお伝えして来ましたが、今年度より豊能町独自の学習「とよの未来科」が本格的にスタートします。

【とよの未来科とは？】

「とよの未来科」とは、めざす子ども像「豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども」の実現に向け、「とよの」に学び、「とよの」を学ぶ”ことを通して自分の生き方について考えたり、豊能町の未来について考えたりする教科横断的・総合的な学習です。豊能町でこれまでも大切にしてきた、地域学習・キャリア教育・人権学習を一体的にとらえたものです。

【どの時間で学習するの？】

基本的には、生活科・総合的な学習の時間を中心に取組みますが、内容に応じて、各教科や特別活動（学校行事）など様々な場面で取組みます。

【どんな学習をするの？】

「とよの」の自然・環境、生活・産業、歴史・伝統等、「とよの」の教育資源を有効に活用しながら学習します。それらに関わることで、自分を見つめたり、豊能町の未来や自分の生き方について考えたりします。

【これまでの取組み】



オオムラサキ放蝶会

保幼小交流会

ハンカチ販売

オオムラサキの幼虫探し

初谷川水質調査

モリアオガエルの卵塊探し

保育体験学習

職場体験学習

様々な人々と触れ合う機会や体験を重視した活動を積み重ね、義務教育終了時に、豊能町の未来のためにできることを、自分の言葉で自信をもって語れる子どもの育成をめざします。

